

《資料館便り》

平成 29 (2017) 年
9 月号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけのひとつです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

秋田大学鉱業博物館を見学 ～鉱物保護収集委員会研修視察～

石川町鉱物保護収集委員会(飯島裕委員長)は、今後の鉱物館建設や鉱物の保護、収集に関する情報を得るため、秋田大学附属鉱業博物館を訪問しました。

秋田大学国際資源学部は、わが国地質学界の草分け的存在「秋田鉱山専門学校」(明治 43 年(1910)創立)の伝統を引き、附属鉱業博物館は日本を代表する鉱物・岩石の研究・展示施設となっています。

同大学教育文化学部の林信太郎教授(火山学・火山地質学・地学教育)から、各鉱物の説明を受けな



↑ 秋田大学鉱業博物館の全景



↑ 林信太郎先生(左から2番目)のご説明

がら、館内を詳しく案内していただきました。また、展示方法についても、来館者の視点に立った見せ方、展示器具の工夫等、詳細なご説明を受け、感銘すら覚える大変密度の濃い時間となりました。

今後の委員会活動、特に博物館建設に貴重な知見を得ることができた、有意義な研修でした。

林信太郎教授：

2015 年度日本火山学会賞受賞

「キッチン火山実験による火山学の啓発普及活動」が受賞テーマです。今や定番となっている、身近な食材による、火山噴火現象を子供たちにも分かりやすく説明できる教育用実験で、林先生の開発です。

9 月 2 日(土) NHK「ブラタモリ」にも出演され、十和田湖と奥入瀬の自然について詳しく、分かりやすく説明されていました。



↑ 石川町産の巨大水晶も展示されています。